



訪日回数 2 回以上の、20～30 代の台湾人女性 1,528 名を調査

## この夏行きたい場所は『北海道』

体験したいのは『夏祭り』・『花火大会』が 6 割

～ 台湾人・訪日リピーターのキーワードは「日本人と同じ感覚を楽しみたい」～

台湾・香港人向けの訪日観光情報サイトとして No.1 のユニークユーザー数を有する「樂吃購(ラーチーゴ)！日本」を運営する株式会社ジーリーメディアグループ(本社:東京都渋谷区 支社:台湾台北市、代表取締役:吉田皓一)は、本サイトのユーザーである、2 回以上日本を訪れたことがある 20～30 代の台湾人女性を対象に、WEB 上で「訪日旅行に関する意識調査」を実施し、1,528 名から回答を得ました。

### <調査背景>

2016 年の 1 年間で日本を訪れた旅行者 2400 万人以上のうち、台湾からは過去最多となる 410 万人以上が日本を訪れました。うち 8 割以上が「2 回以上」日本を訪れており、リピーター率は他国と比べても断トツで 1 位です。また、旅行者の大半が個人旅行者(FTT)のため、その行動の幅は広がりを見せています。そこで今回は、観光客が増える夏休みシーズンに、トレンドに敏感な女性台湾人訪日客が何に興味を持ち、どこへ行くのかを探るべく、本調査を実施しました。

(出典:2016 年度訪日客数(日本政府観光局)／ 訪日外国人消費動向調査(観光庁))

### <「日本旅行に関する意識調査」結果サマリー>

#### ◆今夏に行きたい都道府県は「北海道」が 1 位！リピーター上級者は東北・四国地方へ

- 今年の夏に行きたい場所は、北海道が 1 位(44.5%)、東京都が 2 位(35.2%)、沖縄県が 3 位(29.8%)
- 訪日回数 2～5 回の回答者(以下リピーター初級者)は、トップ 3 の北海道・東京都・沖縄県以外に 4 位 京都府(30%)、5 位 大阪府(28.9%)と、ゴールデンルートに票が集まったのに対し、訪日回数 6 回以上の回答者(以下リピーター上級者)は、5 位に青森県(19.9%)がランクイン
- リピーター上級者はリピーター初級者と比べて、東北地方への訪問意向が+9.8 ポイント(青森県)、+4.7 ポイント(宮城県・秋田県)高い。四国地方の香川県と徳島県に関しても同様に、リピーター初級者と比較して+4.4 ポイント、+4.2 ポイントの差がある結果に

#### ◆今夏特に体験したいことは、1 位「夏祭りへ行く(68%)」・2 位「花火大会へ行く(60.4%)」

- 今年の夏、日本で特に体験したいことは 1 位が「夏祭りへ行く(68%)」、2 位が「花火大会へ行く(60.4%)」で、「夏限定のグルメを食べる(53.7%)」、「季節の花を見に行く(52.1%)」が 3 位と 4 位に続いた。日本の風物詩を好む傾向がある
- 特に食べたいもの 1 位は「ご当地グルメ(65.8%)」がトップ。日本の地域に対する興味が伺える。その他、約半数が「人気のパンケーキ、スイーツ」を食べたいと回答。日本で流行していることを追いかけてほしいという傾向がある

#### ◆旅行中の課題、約半数が「飲食店などの予約方法がわからない」と回答

- 訪日旅行中に困ることは、全体の 49.2%が「飲食店などの予約方法がわからない」と回答し、さらに 38.4%が「無料 Wi-Fi エリアが多くない」、38.3%が「言葉が通じない」ことを課題としている。また、「交通の乗り方・乗り換えがわからない(34.3%)」という回答もあり、目的地までの二次交通が課題となっている



＜「樂吃購(ラーチーゴー)！日本」編集長に聞く 日本旅行好きな台湾人女性の思考＞



千葉県銚子市にて  
「めれ煎餅」焼き体験をする  
Ning 編集長

「台湾人は日本人が好きなモノやコトを同じ感覚で楽しみたい」

台湾では、日本のドラマや映画がテレビで放送されており、日本文化に非常に親しみがある人が多数です。そのため、劇中で観た日常文化に強い憧れをもちます。

本アンケートで今夏に行きたい都道府県のトップ3に北海道と沖縄県がランクインしているのは、台湾人が日本人と同じ感覚を持っているからこそだと思います。また、花火大会や夏祭りに関しては、テレビで見てきた日本の光景を自ら経験してみたいという気持ちがあるのかもしれませんが。特に、リピーターの台湾人観光客は、日本で流行っているものを同じように追いかけていきたい気持ちが強く、お寺や神社の王道な日本の観光地巡りよりも、もっと日頃の生活に根ざしたことを「日本人と同じ感覚・目線で楽しみたい」という人が大半です。訪日回数が増えるにつれて、より地方へ流れ、日本の深い文化を知ろうとします。

＜アンケート概要＞

サンプル数: 計 1,528 名

調査主体: ジーリーメディアグループ

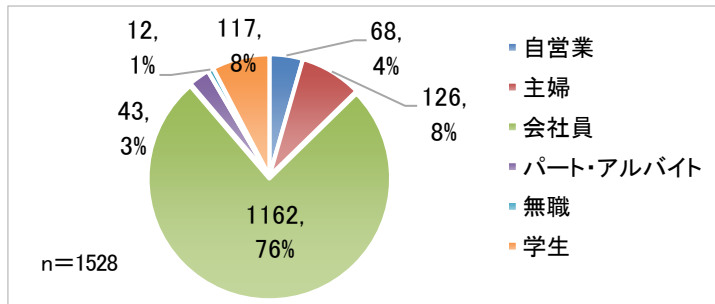
調査対象: 今まで日本に2回以上訪れたことがある20～30代の台湾人女性

調査方法: 「樂吃購(ラーチーゴー)！日本」内でのインターネットリサーチ

調査期間: 5月29日(月)～6月14日(水)

【回答者プロフィール】

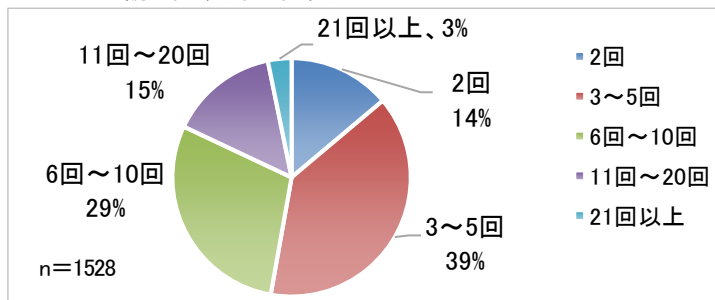
職業(単一回答)



年齢(単一回答)

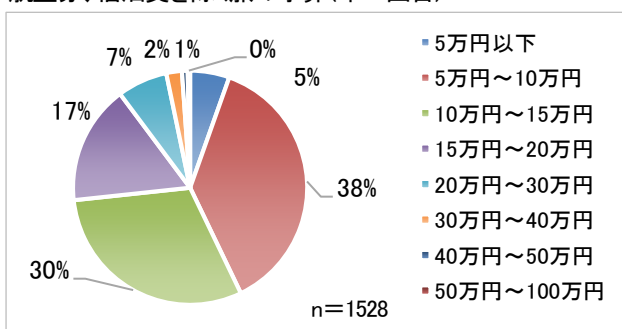
年齢	人数
20歳～29歳	459
30歳～39歳	1,069
合計	1,528

これまでの訪日回数(単一回答)

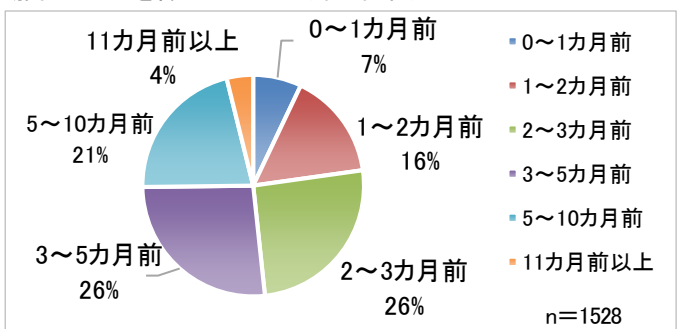


回数	人数
2回	212
3～5回	595
6回～10回	446
11回～20回	226
21回以上	49
合計	1,528

航空券、宿泊費を除く旅の予算(単一回答)



旅行の計画を練るタイミング(単一回答)





【今夏の訪日訪問先に関する傾向】

今年の夏、人気の旅行先は、北海道(44.5%)、東京都(35.2%)、沖縄県(29.8%)がトップ3に

Q. 今年の夏に日本旅行するなら行きたい都道府県はどこですか(複数回答)

	都道府県名	票数	割合
1	北海道	680	44.5%
2	東京都	538	35.2%
3	沖縄県	455	29.8%
4	京都府	390	25.5%
5	大阪府	337	22.1%
6	熊本県	227	14.9%
7	青森県	213	13.9%
8	奈良県	172	11.3%
9	福岡県	157	10.3%
10	静岡県	155	10.1%

- ・全体では、夏の王道旅行先の北海道、沖縄県がトップ3内にランクイン
- ・ゴールデンルート以外の地方エリアでは、熊本県、青森県、奈良県、福岡県、静岡県が6位から10位にランクイン

<その中でも特に訪れたい観光地(回答者自由記述)>

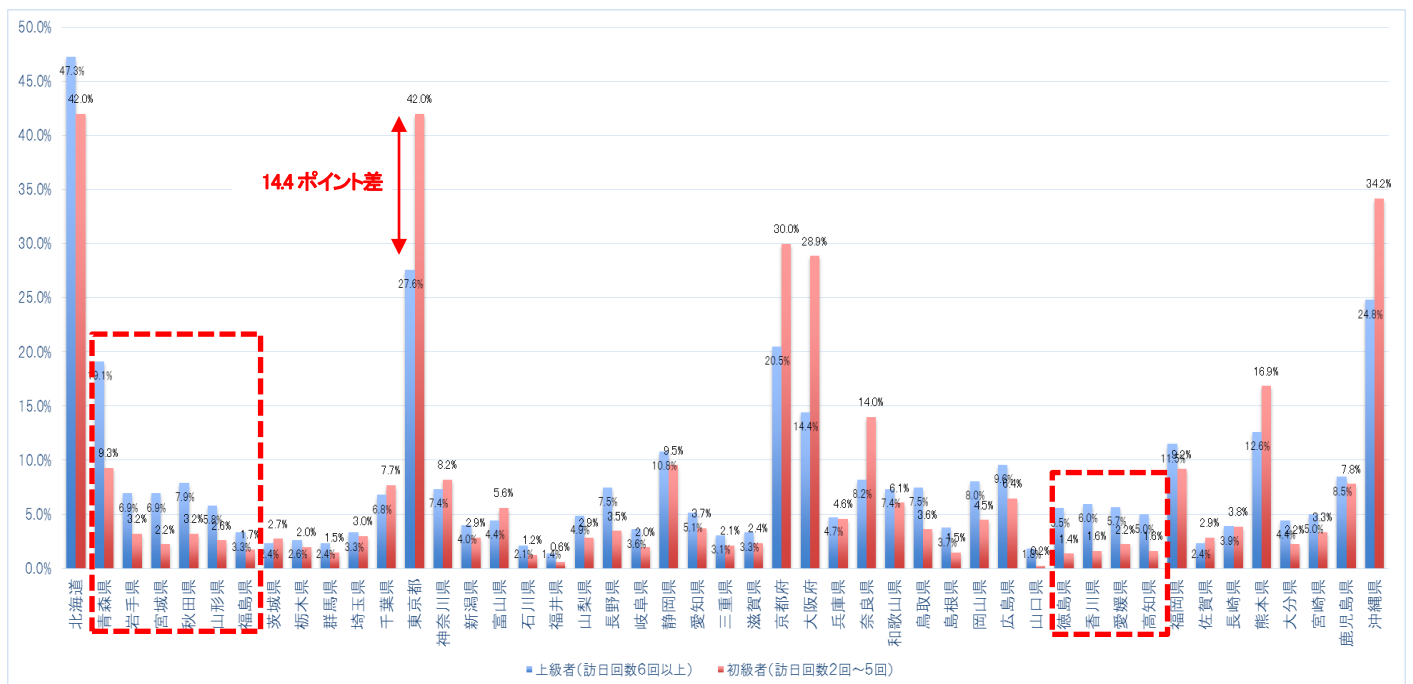
- ・北海道: 洞爺湖、札幌ドーム、阿寒湖、登別温泉
- ・東京都: 清澄白河、スノーピーミュージアム
- ・沖縄県: 古宇利島 万座毛 瀬長島
- ・熊本県: くまモンスクエア、熊本城
- ・青森県: 奥入瀬溪流、青森美術館、青函トンネル、青森ねぶた祭
- ・福岡県: 福岡アンパンマンこどもミュージアム in モール
- ・静岡県: ちびまる子ちゃんランド

リピーター上級者は、初級者より東北・四国地方への訪問意向が高い

- ・42%のリピーター初級者が東京都への訪問意向があるのに対し、上級者は27.6%と14.4ポイント減少
- ・上級者は初級者と比べて、東北地方への訪問意向が+9.8ポイント(青森県)、+4.7ポイント(宮城県・秋田県)高い。また、四国地方の香川県と徳島県に関しても、初級者と比較して+4.4ポイント、+4.2ポイントの差があり、より日本の地方エリアへと足を伸ばしたい傾向がある

※訪日回数2~5回の人「リピーター初級者」と定義  
訪日回数6回以上の人を「リピーター上級者」と定義

<リピーター初級者(訪日回数2~5回)と上級者(訪日回数6回以上)の比較>

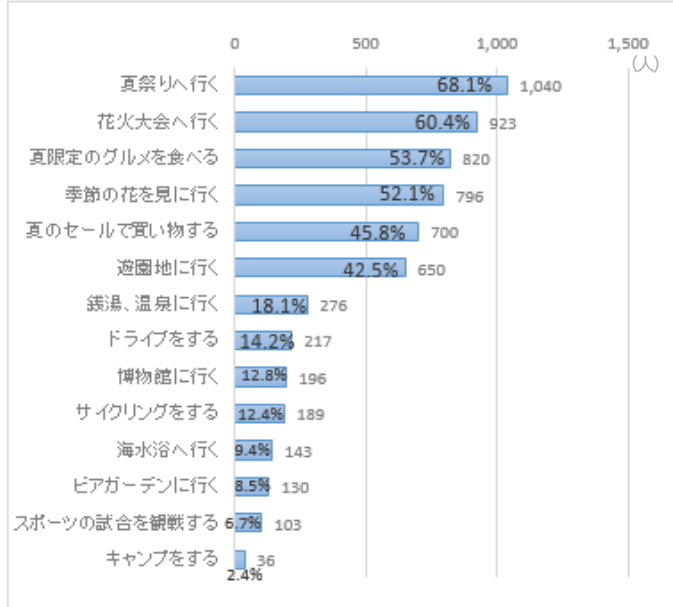




【今夏の訪日旅行先に関する傾向】

**今年の夏、約6割が「夏祭りへ行く」・「花火大会へ行く」を希望し、日本の風物詩を好む**

Q. 今年の夏に日本で特に体験してみたいことは何ですか(複数回答)

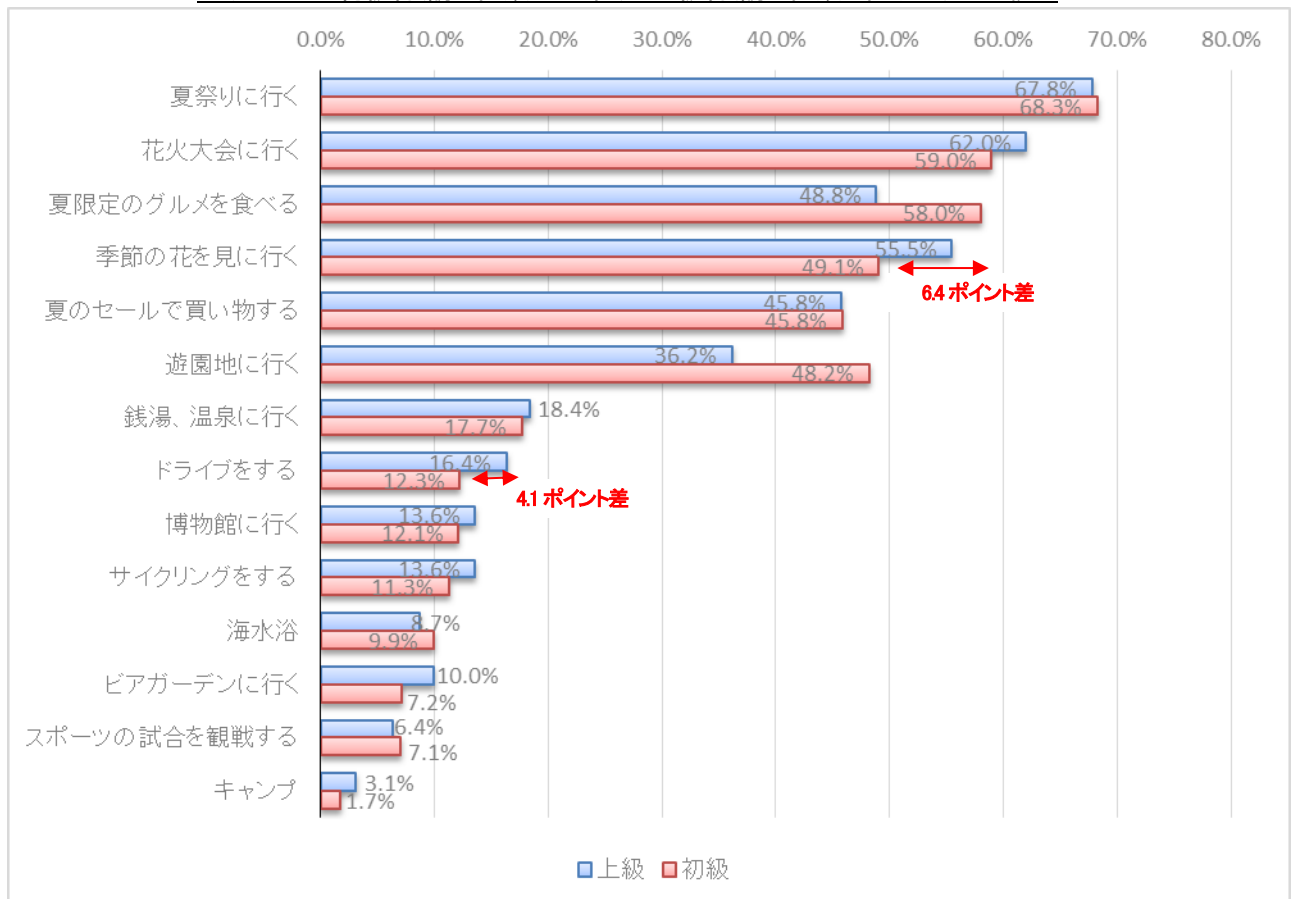


・特に体験したいことは「夏祭りへ行く(68.1%)」が1位、「花火大会へ行く(60.4%)」が2位、「夏限定のグルメを食べる(53.7%)」、「季節の花を見に行く(52.1%)」が3位と4位に続いた。

**リピーター上級者は、「季節の花を見に行く」「ドライブをする」など、よりディープな行動を好む**

・リピーター初級者は、「季節の花を見に行く」が49.1%に対し、上級者は55.5%と6.4ポイントの差が開いている。さらに、「ドライブをする」という回答は、初級者が12.3%に対し、上級者が16.4%となり、4.1ポイントの差が出た。一方で、初級者の特色としては、上級者よりも「遊園地に行く」と回答した割合が12ポイント高い結果となった。

＜リピーター初級者(訪日回数2~5回)と上級者(訪日回数6回以上)の比較＞

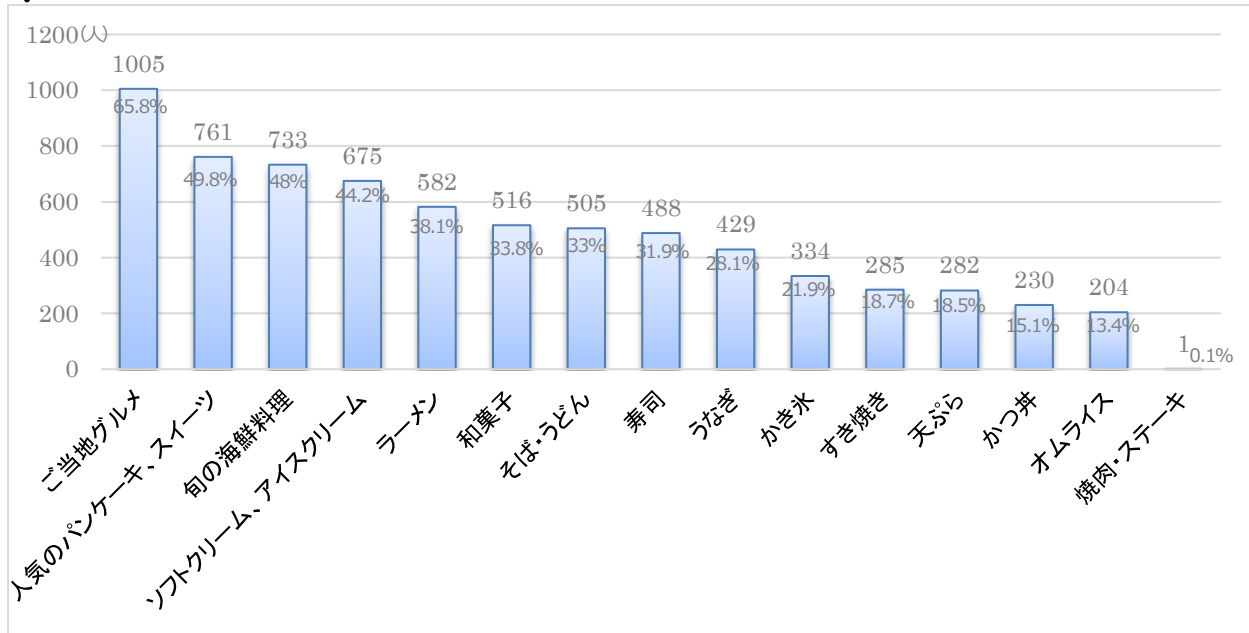




**今年の夏、約7割が「ご当地グルメ」、約5割が「人気のパンケーキ、スイーツ」を食べたい**

- ・65.8%の人が、特に食べたいもの1位に「ご当地グルメ」と回答。第2位は、「人気のパンケーキ、スイーツ(49.8%)」がランクイン
- ・日本全国、その土地でしか味わえない食に興味がある傾向に
- ・日本で今流行しているグルメを日本人と同じように味わいたいという傾向がある

Q. 今年の夏に日本で特に食べたいものは何ですか(複数回答)

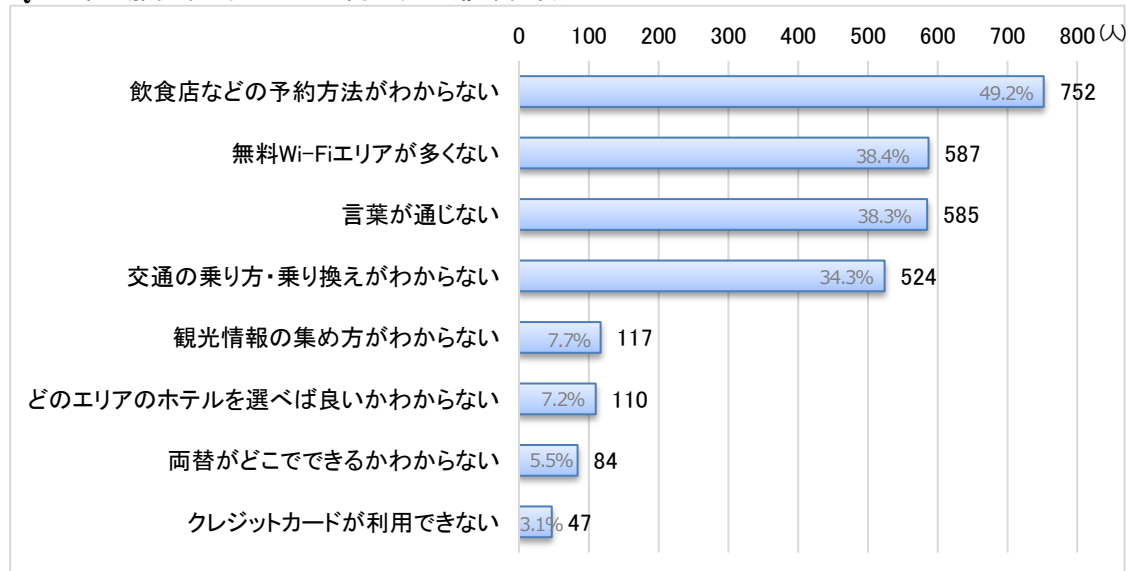


**【日本旅行中の課題】**

**約半数の49.2%が「飲食店などの予約方法がわからない」という結果に**

- ・訪日旅行中に困ること第1位が、「飲食店などの予約方法がわからない(49.2%)」、第2位が「無料Wi-Fiエリアが多くない(38.4%)」、第3位が「言葉が通じない(38.3%)」という結果になった
- ・「交通の乗り方・乗り換えがわからない」という回答も34.3%あり、目的地までの二次交通が課題となっている

Q. 日本の旅行中に困ることは何ですか(複数回答)





<参考資料>

「樂吃購(ラーチーゴー)！日本」とは

「樂吃購(ラーチーゴー)！日本」(www.letsgojp.com)は、台湾人・香港人(繁体中国語圏)向けに、日本での遊び方、食、買い物に関する内容を中心に様々な日本の情報を発信している、日本観光情報サイトです。月間約500万PV、80万ユニークユーザーのサイトに加え、59万人以上のFacebookファンを獲得しており、両地域において非常に高い知名度と人気を持つインバウンドメディアです。2011年のサービス開始以来、北海道、東北、東京、大阪、京都、四国、九州、沖縄など12のエリア版を開設。各地域で訪日台湾人・香港人観光客を呼び込みたい企業や自治体、公共交通機関、団体などと連携し、地元の魅力を紹介しています。



樂吃購!日本

<会社概要>

【社名】株式会社ジーリーメディアグループ

【住所】東京都渋谷区千駄ヶ谷5-20-11 第一シルバービル5F

【代表取締役】吉田皓一(よしだ こういち)

【設立】2013年10月 【資本金】1000万円 【年商】2億円

【事業内容】台湾・香港人向けの訪日観光客向けウェブメディア「樂吃購！日本」(www.letsgojp.com)の運営、台湾市内の日本アンテナショップ「MiChi cafe」の運営、日本ガイドブック作成、台湾メディア・ブロガー誘致など

【実績】日本政府観光局、北海道運輸局、東北観光推進機構、九州観光推進機構、沖縄コンベンションビューロー、青森県、岩手県、宮城県、長野県、神奈川県、埼玉県、千葉県、熊本県、宮崎県、大阪府阪南市、奈良県奈良市、佐賀県有田町、JR 東日本、小田急電鉄、成田空港、ホテル・アミューズメント施設など多数

※2015年 日本経済新聞優秀サービス最優秀賞受賞

<代表プロフィール>

吉田皓一(よしだこういち)

1982年生。奈良県出身。防衛大学校を経て慶應義塾大学経済学部卒業後、朝日放送入社。総合ビジネス局にて3年に渡ってテレビCMの企画・セールスを担当したのち退職。2013年ジーリーメディアグループ創業。大学在学中に独学で中国語を習得(漢語水平考試最高級所持)し、中国語に堪能なことから、台湾にてテレビ番組やCM出演、雑誌コラムの執筆なども行う。日本国内においても、台湾香港のインバウンド関連のセミナーに多数登壇。現在は東京と台北を往復しながら、日本の魅力の発信中。



ご掲載の際は、下記連絡先までお問い合わせください。ご検討の程、宜しくお願いいたします。

<本件に関する報道関係者のお問合せ>

「ラーチーゴー」広報窓口(株)プラップジャパン内) 出元・篠原 TEL:03-4580-9105

ジーリーメディアグループ 広報担当 フルジョウ TEL:03-5925-8611